

輝け！シン尾花沢中

第163号

令和8年

1月15日

気高く晴れた 月の峰 雲間にそそる 鳥海も

尾中スキー部、いざ出陣！～県中学校スキー大会～

1月12日(月)～14日(水)に、県中学校総合体育大会スキー競技大会が、蔵王坊平高原スキー場(クロスカントリー競技)と赤倉温泉スキー場(アルペン競技)を会場に行われ、本校の4名のスキー部が出場しました。

本間鼓白さん(3年):クロスカントリー競技

- ・スキーは、走った後の達成感、個人戦だが団体戦のようなところ、頑張った分だけ結果に出せることが魅力です。
- ・スキーを通して、あいさつの大切さ、辛いときこそ頑張ること、感謝すること、仲間と助け合っていくことを学びました。
- ・技術向上のために、筋トレをしたり、長期休業中に毎日10～15kmのランニングをしたりしました。
- ・最後まであきらめずに、自分が目標とする結果で帰って来れるように頑張ってきます。



秋保一路さん(2年):アルペン競技

スキーは、努力で記録を縮めることができるのが魅力です。スキーを通して、あきらめないことを学びました。技術向上のために、たくさん食べるようにしています。入賞目指し、頑張ってきます。



武田龍之介さん(1年):アルペン競技

スキーは、速いタイムが出たときの喜びがたまりません。現在、スキーの基本を大切にうまく滑る技術を学んでいます。技術向上のために、日常生活も運動するよう心がけています。応援よろしくお祈いします。



佐藤海杜さん(1年):アルペン競技

スキーは、勝ち負けを争うことができるのが魅力です。現在、スキーの基本動作を学んでいます。技術向上のために、筋力をつけるよう心がけています。賞状をとってきます。



鼓白さんは、フリーとクラシカルで、東北大会と全国大会に出場します。海杜さんは、ジャイアントスラロームで東北大会、スラロームで東北大会と全国大会に出場します。

2人のさらなる健闘を期待しています。

【文責：校長 工藤雅史】